

令和元年度 第1回 貸出文庫新着案内

予約受付開始：令和元年10月23日（水）午前9時から

書名	著者	出版社	頁	内容説明
そして、バトンは渡された	せお 瀬尾まいこ	文藝春秋 (2018.2)	372p	血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。だが、彼女はいつも愛されていた。身近な人が愛おしくなる優しい家族の物語。2019年本屋大賞
ひらば つき 平場の月	あさくら 朝倉かすみ	光文社 (2018.12)	245p	朝霞、新座、志木…。家庭を持ってもこのへんに住む元女子たち。元男子の青砥も、このへんで育ち、働き、老いぼれていくひとりである。心のすき間を埋めるような感情のうねりを、求め合う熱情を、生きる哀しみを描く、大人の恋愛小説。第32回山本周五郎賞
月まで三キロ	いよはらしん 伊与原新	新潮社 (2018.12)	255p	「この先に、月に一番近い場所があるんです」…。死に場所を探してタクシーに乗った男を、運転手は山奥へと誘う（「月まで三キロ」）。折れそうな心に寄り添う6つの物語。第38回新田次郎文学賞
ののはな通信	みうら 三浦しをん	KADOKAWA (2018.5)	448p	お嬢様学校に通う、野々原茜（のの）と牧田はな。正反対の2人はなぜか気が合い、かけがえない親友同士となる。しかし、ののはなにいつしか友情以上の気持ちを抱き…。運命の恋を得た少女たちの20年超を書簡形式で紡いだ女子大河小説。
牧水の恋	たわら まち 俵万智	文藝春秋 (2018.8)	290p	「白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まらずただよふ」…。旅と酒の歌人・若山牧水は、恋の歌人でもあった。若き日をささげた恋人の秘密とは。恋の絶頂から疑惑、別れまでの秀歌を味わいつくす、スリリングな評伝文学。第29回宮日出版文化賞特別大賞
夢も見ずに眠った。	いとやまあきこ 糸山秋子	河出書房新社 (2019.1)	299p	夫の高之を熊谷に残し、札幌へと単身赴任を決めた沙和子。しかし、久々に一緒に過ごそうと落ち合った大津で、再会した夫は鬱の兆候を示していた。高之を心配し治療に専念するよう諭す沙和子だったが、ふたりは次第にすれ違っていき…。 全国学校図書館協議会選定図書
うんじょううんげ 雲上雲下	あまい 朝井まかて	徳間書店 (2018.2)	438p	昔話たちが世界から消えたら、この世の中はどのようなになりますか？子狐に山姥、乙姫に天人、そして龍の子。民話の主人公たちが笑い、苦悩し、闘う。不思議で懐かしい、大人のためのファンタジー。

- ・ 1タイトルにつき20冊所蔵しています。
- ・ 申込先：埼玉県立熊谷図書館 図書館協力担当

* 上記内容説明は「トーハンマーク」から引用
 TEL：048-523-6291（代表）
 FAX：048-525-2667（図書館協力担当直通）